



会員のひろば



曾我 隆二

絵手紙教室

初雪日の庭
直向きに咲いている
一輪の紅菊
ふと我と照らし合わせ
涙溢るる

山本 満里子

午前三時
バッチリ覚醒
自律神経のいたずらか
朝日を浴びて
リセットしよう

友田 富美子

五行歌の会

俳句
寒晴れや小樽運河の深緑
買い初めやいっ歩踏み入る地下歩道

川口 昭治

ゼ ロ で

高齢者の望みは「ピンピンコロリ」と考える方が多い。
ところが、今、30～40代のあいだで「DIE WITH ZERO」（ゼロで死ぬ）というライフスタイルに関心が集まっているそうです。
自己啓発書「DIE WITH ZERO」の著者はビル・パーキンスでアメリカの金融専門家です。
概略は、「若い頃から働き続け、お金を残すより、やりたい事にお金を使い、良い思い出を作ることによって、高齢になっても喜びを持ち続けることが出来る。」
若い世代の中には、「働いて、貯蓄し、老後設計」と考えるより、早期に仕事を辞めて、資産運用で暮らすことを考える人が増加しているそうです。
将来のキャリア形成に希望が持てない若い世代が、今の政治、経済等社会情勢に漠然とした不満を抱いている結果ではないだろうか。（政治の劣化）
投資の専門家は、「投資で儲かる人は、ほぼ4割」と言っている人もいる。資産が「ゼロ」になった時、死ぬとは、限りません。
自分の命のコントロールは、ほとんどできません。（天のみぞ知る）
「ピンピンコロリ」は夢のまた夢。

沖 野 孝

日々雑感～スタンプラリー

先日の旅行をきっかけに始めたのが、道の駅スタンプラリーと百名城スタンプラリーで、達成は遠いけど新しい楽しみができました。
そういえば、スタンプラリーっていつからあるのかなとA1に聞いたところ、スタンプラリーという言葉は和製英語で、そもそも日本発祥のものらしいです。なんと室町時代の四国八十八ヶ所霊場巡拝などの寺社巡礼に遡り、御朱印などを納経帳にまとめたのが原点だそうです（シャチハタによる）。日本人は昔からスタンプ集めが好きだったんですね。
スタンプ集めといえば、夏休みのラジオ体操の出席ハンコ！学校の皆勤賞というのも、ある意味スタンプラリー的な側面があったりして？どちらも、今でもあるのかは分かりませんが、ギリギリまでサボる派の私としては、ラジオ体操の最終日に参加賞のお菓子をもらったり、皆勤賞の友達の自慢話を聞いたりすることが、それはそれで楽しかったのです。

てっちゃん